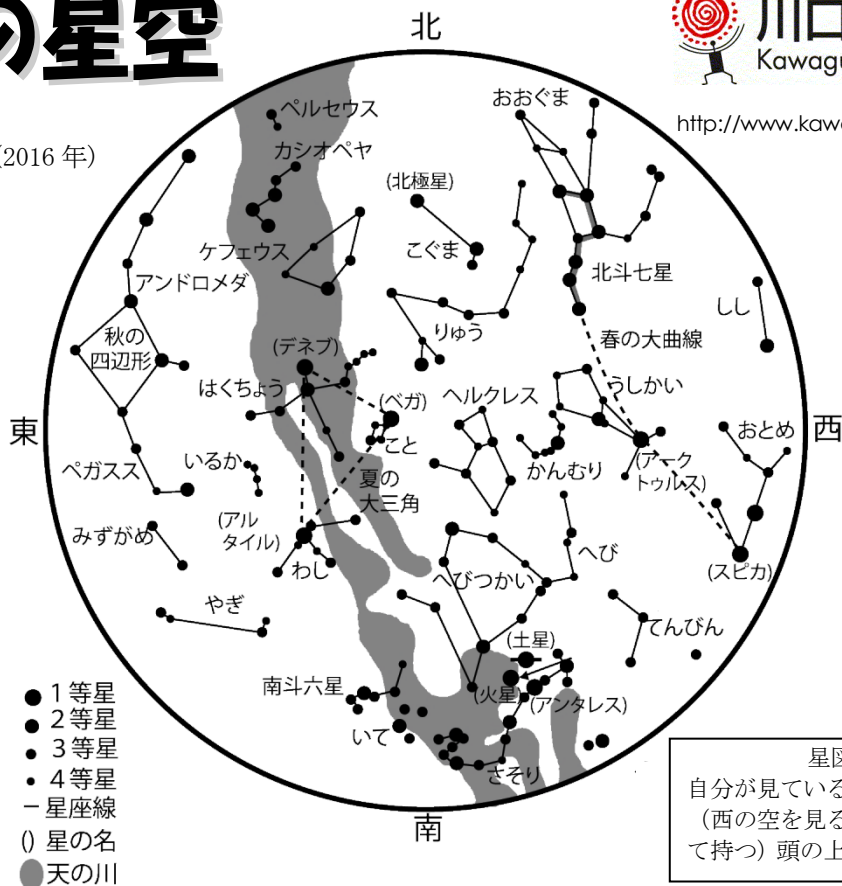


# 今月の星空

8月 (2016年)

上旬 21 時頃  
下旬 20 時頃



月 齢	● 新月 3 日、	◐ 上弦 11 日、	○ 満月 18 日、	◑ 下弦 25 日
惑星情報	水星	夕方	西 (中旬まで)	(しし座 → おとめ座 0 → 1 等級)
	金星	夕方	西 (しし座 → おとめ座	-4 等級)
	火星	夕方	南 (てんびん座 → さそり座 →	へびつかい座 -1 → 0 等級)
	木星	夕方	西 (しし座 → おとめ座	-2 等級)
	土星	夕方	南 (へびつかい座	0 等級)

## ☆ ペルセウス座流星群が極大 (12 日深夜~13 日未明)

12 日から 13 日にかけて、三大流星群のひとつ、ペルセウス座流星群の活動が極大を迎えます。予想されている極大時刻は 12 日 21 時です。また、見ることができる流星の数に影響するのが、月明かりです。月明かりがあると空が明るくなり、暗い流星が見えにくくなってしまいます。月は 13 日午前 0 時ころに沈みます。一番多くの流星が見られるのは月が沈む 13 日午前 0 時ころから明け方になりそうです。

よりたくさんの流星を見るためには、街あかりが少ないこと、空全体を見渡すことができること、30 分以上観測を続けて暗い場所に目を慣らすことが重要です。

## ☆ 火星と「さそり座」の 1 等星アンタレスが見かけ上、接近 (24 日)

火星などの惑星は、日がたつにつれ、少しずつ星座の間を移動していくように見えます。通常は、星座に対し西から東へ動き、これを「順行 (じゅんこう)」といいます。一方、星座に対し東から西へ動くことがあり、これを「逆行 (ぎゃっこう)」といいます。5 月末に最接近した火星は、6 月まで「逆行」していましたが、6 月 30 日を境に、動きの向きが「順行」に変わりました。

8 月 24 日に火星と「さそり座」の 1 等星アンタレスが、見かけ上 1.8 度 (満月約 3.5 個分の幅) まで接近します。アンタレスは、火星に対抗するものという意味の「アンチ・アース」に由来します。これは、火星がアンタレスに見かけ上近づくと、お互いの赤さを競い合っているように見えることからついた名前だと言われています。どちらが赤いか実際の空で確かめてください。

この 2 天体の近くには土星も見えていて、20 時ころの南の空は大変にぎやかです。